



アスリートを支える、  
資格がある。

リポビタミンDは  
アンチドーピング認証を取得しています

厳しい闘いには、厳しい基準がある。  
国際的なアンチドーピング認証である  
「インフォームド・チョイス認証」を取得しているリポビタミンDは、  
アスリートが服用できる栄養ドリンクです。

「インフォームド・チョイス認証」について  
インフォームド・チョイス認証プログラムは、製品に、世界  
ドーピング防止機構(WADA)の禁止物質リストに記載された物質  
が含まれていないか、サンプル分析や製造工場の管理体制  
まで確認する検査プログラムです。



リポビタミンD

指定医薬部外品 疲労回復

リポビタミンDのアンチドーピングへの  
取り組みはこちら

<https://brand.taisho.co.jp/lipovitan/lipod/informed-choice/>



別冊付録 「中学硬式野球Clinic」目指せ! 高身長アスリート

# Baseball Clinic

令和元年9月17日発行・発売(毎月17日発行・発売)  
第30巻 第10号 通算363号  
平成2年6月16日第三種郵便物認可

●ベースボール・クリニック

OCTOBER  
2019

ベースボール・マガジン社発行



別冊付録  
「中学硬式野球Clinic」

注目選手、指導者、チームに迫る!

## 特集 ピッチャー 育成バイブル

◆Player's Voice  
プロ注目! 大学No.1右腕  
森下暢仁  
◎明治大投手

◆My Coaching Style

好投手輩出システム

森本吉謙 坪井俊樹

◎仙台大監督

◎仙台大コーチ

◆投球数とパフォーマンスの関係

黒坂洋介

◎昌平高監督

◆Technical Methods  
高橋優貴[巨人]&吉田輝星[日本ハム]の  
成長メソッドを公開!

正村公弘 ◎八戸学院大監督

◆第101回全国高校野球選手権大会特集  
履正社が初制覇!  
岡田龍生監督Storyほか





# Make a Choice

## 大学準硬式野球の活動実態に迫る

これまで今連載では準硬式野球で活躍してきた現役選手やOBにその魅力を聞いてきた。今回は年間を通してどのような大会が開催されているのか、どのような活動を行っているのかを紹介する。準硬式野球を詳しく知るためのきっかけとしてほしい。また、併せて今夏に行われた全国大会の結果もお届けする。

### 2つの全国大会 連盟によっては海外遠征も

全日本大学準硬式野球連盟には現在282チームが加盟。北海道、東北、北信越、関東、東海、関西、中国、四国、九州の地区連盟があり、加盟校数の多い連盟ではさらに細かなリーグに分かれて活動している。全国大会は「文部科学大臣杯全日本大学準硬式野球選手権大会」、「清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会」が開催される。出場校の決定方法は、リーグ戦優勝チームや予選会で勝ち上がったチームなど地区連盟それぞれで異なる。2大会とも8月下旬と開催時期が重なっているため、両大会に出場することはかなわない。また、11月には各地区連盟の選抜チームで戦う「全日本大学9ブロック

対抗準硬式野球大会」も開催。では、各地区連盟ではどのような活動を行っているのか。昨年まで関東地区大学準硬式野球連盟の理事長を務めた全日本大学軟式野球協会事務局の長島幸雄氏に伺った。「関東地区連盟では3月に関東地区大学準硬式野球選手権大会を開催しているほか、社会人チームと対戦する関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦を行っています。そのほかには、東京六、東都、神奈川、北関東、新関東の5つのリーグで春と秋にリーグ戦を開催しています。4年生の引退時期は学校によって異なっており、春のリーグ戦限りで引退する選手もいれば、秋のリーグ戦に参加し9ブロック大会に出場する選手もいます。また、3年に1回海外遠征も行っています」

### 全日本大学準硬式野球連盟加盟チーム数

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| ○北海道 20チーム | ○北信越 18チーム | ○中国 15チーム |
| ○東北 14チーム  | ○関西 56チーム  | ○四国 10チーム |
| ○関東 76チーム  | ・関西六大学     | ○九州 41チーム |
| ・東京六大学     | ・近畿六大学     | ・九州六大学    |
| ・東都大学      | ・阪神六大学     | ・福岡県大学    |
| ・神奈川大学     | ・京滋六大学     | ・長崎県大学    |
| ・北関東大学     | ・西都六大学     | ・南九州地区大学  |
| ・新関東大学     | ・関西医歯薬     | ・医歯薬大学    |
| ○東海 32チーム  | ・京阪神       |           |
| ・東海        |            |           |
| ・静岡        |            |           |

### 関東地区連盟所属チーム 主な参加大会

- 〈全国大会〉
  - 「全日本大学準硬式野球選手権大会」  
8月下旬開催  
北海道(2)、東北(1)、関東(6)、北信越(1)、東海(3)、関西(5)、中国(1)、四国(1)、九州(3)、地元推薦枠(1)計24校参加
  - 「清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会」  
8月下旬～9月上旬開催  
北海道(1)、東北(1)、関東(4)、北信越(1)、東海(2)、関西(3)、中国(1)、四国(1)、九州(2)、計16校参加
- 〈地区連盟大会〉
  - 「関東地区大学準硬式野球選手権大会」  
3月下旬
  - 「関東地区大学・社会人準硬式野球王座決定戦」  
11月
- 〈リーグ戦〉
  - 春季リーグ戦(主に4～6月の間)
  - 秋季リーグ戦(主に8～10月の間)

今年はオーストラリア遠征開催の年であり、11月12～18日まで5リーグから選考された24名の連盟選抜、東京六大学選抜、神奈川大学選抜、プロ野球球団アデレード・バイツの選手を含めたオーストラリア選抜の6チームで交流戦を行う。そのほか小中高生に向けた野球教室なども予定されている。

### 準硬式ならではの 環境を強みに

77チームが加盟し、部員数も近年ほぼ横ばいの関東地区連盟だが、長島氏は危機感を口にする。「少子化ですし、『硬式野球部があるのになぜ準硬式野球部が必要なのか』と大学関係者から言われることもあります。だからこそ、関東地区連盟では硬式に行けないからではなく、最初から準硬式を選んでもらえるような魅力あるリーグを目指しています」

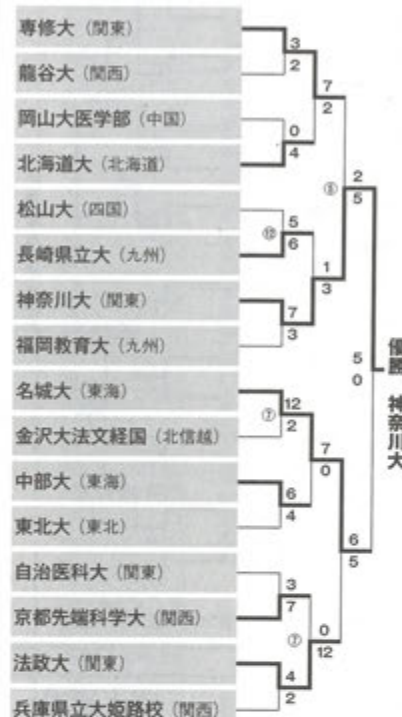
### 「文部科学大臣杯第71回全日本大学 準硬式野球選手権大会」

8月21～27日 愛知県・パロマ瑞穂野球場ほか  
優勝：早稲田大(35年ぶり7回目)



### 「清瀬杯第51回全日本大学選抜 準硬式野球大会」

8月31日～9月3日  
宮城県・仙台市民球場  
優勝：神奈川大(43年ぶり2回目)



そのうちのひとつが、東都大学リーグが4年前から行っているインドネシア遠征だ。野球を普及させることを目的に、インドネシアのほか、フィリピンやスリランカなどのチームと交流戦を行ったり、学校や公園などで子どもに向けた野球教室を開いたりしている。今年の遠征では東南アジア9カ国から参加者を集い「野球指導者育成プログラム」を行う新たな試みも見られた。準硬式に限らず、野球という広いカテゴリーに貢献できる活動を行っている。

準硬式野球の特長のひとつは、やはり選手が自主性を生かせる環境にあるところだ。練習内容や試合といった競技に関するだけでなく、運営面においても選手の意見が尊重される。近くで選手を見ている長島氏も「自分たちが歴史

をつくるんだという気持ち強いと思う」と評する。また、野球以外の時間が取りやすく、学生の本分である学業にも力を入れられる。全国大会出場チームの中にも授業の忙しい医学部の名前が見受けられる。準硬式OBに高校野球指導者は多いが、部活動をしながら教職免許を取得することも可能だ。

全日本大学準硬式野球連盟副会長の鈴木真雄氏は準硬式野球の魅力をこう語る。「大学準硬式野球の最大の魅力は、選手たちが多様な学部で学ぶ知識・

技能を、学生主体の野球部の活動に生かせることでしょ。また、地区での選抜チーム、海外交流など、準硬式野球でしかできない活動を体験する機会も数多くあります。選手にとって、大学で学び、野球を通じて自身が目指す方向にアクティブに挑戦できる場になると思います」

人生の目標と野球を両立させたい人、環境を選択するのではなく自分自身が良い環境をつくっていききたいと思う人にとって、準硬式野球は自らの力を最大限に生かせる場所だと語るだろう。

より詳しく準硬式を知りたい人はこちら

全日本大学準硬式野球連盟HP  
<https://junkoh.jp/>